

II 西北教育事務所 主管事業



西北地区社会教育担当者研修会
令和6年5月16日（木）五所川原市中央公民館

Ⅱ 西北教育事務所主管事業

1 西北地区生涯学習・社会教育主管課長及び公民館長等会議

[事業目的及び概要]

西北管内の生涯学習・社会教育主管課長及び公民館長等に対し、県や教育事務所が行う令和6年度の社会教育に関する事業等について共通理解を図り、その円滑な運営に資すると共に、各市町の社会教育の活性化を図る。

[事業内容及び結果]

- 日時 令和6年4月15日(月) 14:00～16:10
- 会場 五所川原市中央公民館
- 対象 生涯学習・社会教育主管課長、公民館長、図書館長及び社会教育担当者等
- 人数 13名参加
- 内容 講義「家庭教育支援の充実と行政の役割～地域全体で家庭教育を支えるために～」
講師 県教育庁生涯学習課 地域連携推進グループ 社会教育主事 橋本 卓 氏

[成果と課題]

県教育委員会における家庭教育支援の取組や青森県内の家庭教育支援チームの活動の様子が情報提供され、その重要性を確認することができた。

出席者が余裕をもって参加できるように、実施時期や内容について見直しを図っていく必要がある。

2 西北地区社会教育担当者研修会

[事業の目的及び概要]

生涯学習・社会教育関係職員が地域づくりのための手法を具体的にイメージできるよう、より実践的に学ぶ機会を提供する。

[事業内容及び結果]

- 日時 令和6年5月16日(木) 13:30～17:00
- 会場 五所川原市中央公民館
- 対象 管内教育委員会社会教育・社会体育担当者、社会教育指導員、社会教育・社会体育施設関係職員
- 人数 21名参加
- 内容 講演「感謝と挑戦～地域おこし協力隊というチャンス～」
講師 深浦町地域おこし協力隊員 浪岡 敏勇 氏

[成果と課題]

深浦町地域おこし協力隊員として活動する浪岡氏の「きっかけ、思い、決断、周囲への感謝の気持ちがあれば何でもできる。」という言葉に、多くの共感の声が寄せられ、出席者にとって参考になる様々な実践例が多数紹介された。

3 放課後児童対策に係る支援員等研修会

[事業目的及び概要]

放課後対策事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための研修会を開催する。

[事業内容及び結果]

(1) 前期研修

- 日時 令和6年6月6日(木) 9:20~11:30
- 場所 柏ふるさと交流センター「ハーモニー未来館」
- 対象 放課後子ども教室教育活動サポーター、放課後児童指導員・支援員、放課後児童クラブ関係者、児童館関係者、放課後子ども総合プランコーディネーター、市町放課後子ども総合プラン運営委員会委員、市町放課後子ども総合プラン事業担当者、土曜学習推進員等
- 人数 117名参加
- 内容 講義「特別な配慮を要するこどもの理解と保護者への支援」
講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 氏

(2) 後期研修

- 日時 令和6年10月4日(金) 9:20~11:30
- 場所 柏ふるさと交流センター「ハーモニー未来館」
- 対象 前期研修と同じ
- 人数 91名参加
- 内容 講義・演習「こどもの遊びを豊かにするための工夫」
講師 岩手県立児童館いわて子どもの森 チーフプレーリーダー 長崎 由紀 氏

[成果と課題]

(1) 前期研修

発達障害やグレーゾーンの児童への対応や保護者との関わりに苦慮しているケースが多いことから、参加者にとって必要性が高いテーマを取り上げた。「ASD(自閉スペクトラム症)、ADHD(注意欠陥多動症)、支援について、保護者との関わり方」の4つの内容を取り上げ、講師自身の経験も入れながらの講義に対して、参加者自身の振り返りや今後の関わり方への前向きな感想が多く寄せられた。



(2) 後期研修

こどもたちの遊びのすぐそばにいることの多い支援員の方に、こどもたちにとっての遊びとはどういうものなのかを確認したり、身近にある物を使ってできる遊びの体験から活用の幅を広げたりすることで、スキルアップを図ることを目的に研修会を開催した。

前半は、法的根拠をもとに、こどもたちの遊びについて支援員としての関わり方が確認されたり、後半は、誰もが楽しめるじゃんけんや身近な物を使った簡単な遊びが紹介されたりした。参加者にとって充実した時間であり、事後アンケートの感想でも、講義内容に対する評価が高い感想ばかりであった。



4 西北地区スポーツ推進委員研修会

[事業目的及び概要]

健康の増進と体力の向上及び明るく楽しい活力ある生活を営もうとする住民の願いに対応するために、地域における生涯スポーツ推進の核となるスポーツ推進委員及び社会体育担当者の資質の向上を図る。

[事業内容及び結果]

- 日時 令和6年7月4日(木) 13:20～15:30
- 会場 鶴田町公民館
- 対象 管内スポーツ推進委員及び教育委員会社会体育担当者等
- 人数 33名参加
- 内容 講演・実技「たのしくゆったり始めよう～ストレッチ&スローエアロビク～」
講師 青森県エアロビク連盟理事・健康運動指導士 中村 俊子 氏

[成果と課題]

講演において講師は、スライド資料を提示しながら、体力や運動の効果について具体的に伝え、興味・関心を高めながら、それを体験できる実技を行った。実技では、高齢の参加者のことを考え、椅子だからこそできる『骨盤・体幹・重力』を意識したストレッチ運動を体験させていた。

また、スローエアロビクの予定であったが、参加者の活動的な様子からテンポの速い初歩のエアロビクに変更した。有酸素運動の効果が発揮され始める20分強の運動を体験させることで、参加者に満足感を与えることができた。



5 社会教育関係教育委員会訪問

[事業目的及び概要]

| | |
|----|---|
| 前期 | <ul style="list-style-type: none">・ 管内教育委員会における社会教育計画策定状況や職員体制と業務内容等について把握する。・ 教育事務所と管内教育委員会における事業内容を共通理解し、今後の方向性について協議する。 |
| 後期 | <ul style="list-style-type: none">・ 管内教育委員会における社会教育の進捗状況等を把握するとともに、課題解決の方策を探る。・ 次年度から始まる予定の補助事業及び委託事業について情報提供をする。 |

[事業内容及び結果]

○日時、会場、各市町参加者数

| | 訪問日 | 10:00～11:30 | 13:30～15:00 |
|----|-----------|-----------------|----------------|
| 前期 | 5/21 (火) | 中泊町 (パルナス) 6名 | |
| | 5/23 (木) | 深浦町 (町役場) 6名 | |
| | 5/27 (月) | 板柳町 (あふる) 5名 | 鶴田町 (町役場) 4名 |
| | 5/28 (火) | | つがる市 (松の館) 7名 |
| | 5/29 (水) | 鱒ヶ沢町 (町役場) 6名 | |
| | 6/12 (水) | | 五所川原市 (市役所) 9名 |
| 後期 | 12/4 (水) | 深浦町 (保健センター) 4名 | |
| | 12/10 (火) | 中泊町 (町役場) 6名 | 板柳町 (あふる) 4名 |
| | 12/11 (水) | | 五所川原市 (市役所) 6名 |
| | 12/17 (火) | 鱒ヶ沢町 (町役場) 5名 | つがる市 (松の館) 4名 |
| | 12/18 (水) | | 鶴田町 (町役場) 4名 |

○内容

| | |
|----|---|
| 前期 | <ol style="list-style-type: none"> 1 西北教育事務所からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今年度の方針・重点・特に推進すべき事項について (2) 社会教育関係事業及び情報提供について 2 市町教育委員会からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各市町社会教育行政の課題について (2) 今年度の方針・重点について (3) 今年度実施予定の事業と改善点について 3 全体協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「特に推進すべき事項」等について (2) 特に話題にしたい事項等 |
| 後期 | <ol style="list-style-type: none"> 1 西北教育事務所からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本県及び西北管内の社会教育の取組状況について (2) 補助事業、委託事業等について 2 市町教育委員会からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今年度実施事業の成果と課題について (2) 次年度実施予定の事業等について 3 全体協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「西北の課題」への取組状況等について (2) 特に話題にしたい事項等 |

[成果と課題]

各市町の事業報告や今後の展望、抱えている悩みなどを聞くことで、進捗状況を把握することができた。

特に後期訪問では、事業を実施するにあたり、教育委員会以外の課や関係機関と連携を取り、事業を拡大して行うことで、多くの参加者を集めることに成功した例を多く聞くことができた。また、各市町が実施する事業を視察した中で得た情報を提供し、未実施の市町の参考にしてもらった。

令和7年度に向け、具体的な情報提供ができるように、国や県の最新の動向、先進的な取組を進めている市町村に関する情報を収集しておく必要がある。